

東通小学校5年生 稲刈りを体験



稲刈りに挑戦する5年生の皆さん

9月19日、東通小学校では、総合的な学習「東通科」の一環として、毎年5年生の児童が、地元農家の協力のもと、目名地区の田んぼで米作りを学んでいます。

5年生が春に植えた稲が収穫の時期を迎え、稲刈り体験をしました。^{のこま}鋸鎌を使った昔ながらの手作業で挑み、不慣れな作業に、悪戦苦闘しながらも、全て刈り終えることができました。「自分たちが植えた稲が大きくなってのを見て感動した」「初めて鎌を使ったけど上手にできた」「早く美味しいお米が食べたい」など児童からは、沢山の充実した感想があがりました。

白糖勇清倶楽会 JTB観光ツアーで能舞を披露

9月19日、旅行会社「JTB」主催の観光ツアーにて、白糖勇清倶楽会が能舞「巴御前」を披露しました。

この演目は、平安時代の女武者「巴御前」が、戦いで討死した夫の弔い合戦において奮闘する様が描かれています。

ツアーに参加された方々は「生の演奏と生の踊りに大感激でした」「演目の説明もありわかりやすく、ぜひまた参加したい」「普段は決まった日しか披露されないということで、貴重な時間をありがとうございました」と嬉しいご感想を沢山いただきました。



「巴御前」

東通中学校防災安全教室 開催 ～防災について、私たちが今できること～

9月24日、東通中学校1年生を対象に防災安全教室が開催されました。

講師を務めるのは、東北福祉大学4年生で村の防災について研究をしている、田村^{このえ}香衣さん（蒲野沢出身）と佐藤^{まい}舞依さんです。講師の2人が作った「東通村防災すごろく」で、村の地形や施設を教え、佐藤さんが東日本大震災で、福島県南相馬市で被災した体験を生徒に伝えました。

生徒たちは、2人の講義に真摯に耳を傾けていました。



講義の様子

東通村漁業連合研究会「サケ漁況の見通しに係る研修会」開催

9月25日、村漁業連合研究会（会長：渡部 忍）が「サケ漁況の見通しに係る研修会」を開催し、地方独立行政法人青森県産業技術センター内水面研究所の田澤 亮 調査研究部長が講演をされました。

今年の来遊の見通しは、太平洋沿岸での河川捕獲尾数は約2千尾、沿岸漁獲尾数は2万4千尾の見込みであり、昨年をさらに下回ると予測されるとのことでした。昨年の村のサケ水揚量は、過去30年で最少の約55トンであり、近年不漁続きたことから、会員は講師の説明に熱心に耳を傾けていました。



講師の田澤部長



研修会の様子